

3月は卒園・卒業、4月は入園、入学、就職のシーズンです。
お子さんの成長の節目、人生の節目の時期ですね。
このお祝いごとの対応で迷った経験はありませんか？身内の場合とうしたらよいのが、知人や友人の場合、同僚の場合には・・・？
人間関係をよりよく保つためにも、お祝いごとのマナーや常識を知っておくことは大切です。
そこで今回は、一般的なお祝いの金額の目安やマナーなどの事をお話したいと思います。



まずはお祝いの品。現金の場合、親・祖父母・その他いずれの場合も10,000円程度贈る方が多いようです。現金以外では、図書カードなどの商品券も喜ばれます。

祝儀袋を使う場合は「のし」つきで、水引が紅白、花結び（蝶結び）かあわび結びの物を選びましょう。それぞれのお祝いに合った表書きが必要となります。表書きを含めた、お祝いによって異なるポイントなどは次のとおりです。

☆卒園・卒業祝いのマナー＆ポイント

幼稚園（保育園）・小学校・中学校の卒業までは、その後すぐに入学が控えているので、身内の場合でも、卒園・卒業のお祝いは必要ないでしょう。それ以降の卒業祝いは、身内でお祝いするのが一般的です。ごく親しい友人やどうしても卒業祝いを渡したい、という場合は5,000円程度を目安にするとよいでしょう。贈る時期は3月末までに。

卒業して就職をする場合は「就職祝い」を、進路が未定の場合は「卒業祝い」を贈ります。

・祝儀袋の表書きは「祝御卒業」「御祝」などと書きます。



(花結び) (あわび結び)

☆就職祝のマナー＆ポイント

就職祝いも身内でお祝いするのが一般的です。知人や友人の間柄で、ごく親しい場合には、5,000～10,000円程度を目安に贈るとよいでしょう。贈る時期は内定が決まってから初出勤までの間で。

・祝儀袋の表書きは「御祝」「御就職御祝」「賀社会人」などと書きます。

☆入園・入学祝いのマナー＆ポイント

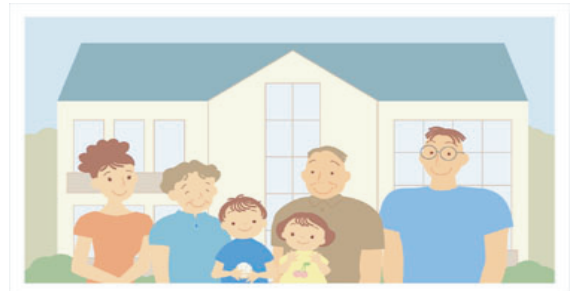
友人・知人からのお祝いの場合3,000円～5,000円程度を贈る方が多いようです。贈る時期は「入園式・入学式」の前までに。

・祝儀袋の表書きは、「祝御入学（入園）」「御祝」などと書きます。



なお、お祝いをもらう側としてのマナーですが、いずれのお祝いも、お返しは不要です。ただし、お礼の電話や手紙などで感謝の気持ちを伝えるようにしましょう。卒業式や入学式で撮った写真を送るもの良いですね。どうしてもお礼をしたい場合は、表書きを「内祝」として品物を贈ると良いでしょう。就職祝の場合なら、初月給をもらった時に、ちょっとした贈り物をお返しするのも良いですね。

冠婚葬祭のまな一・常識というのは、地域によっても大きく異なるものです。土地の風習や親類内での決まりごとがある場合には、それに準じるようにしましょう。"一般的"という常識だけにとらわれず、お祝いを贈る相手の顔を思い浮かべながら上手に選んでいきたいですね。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp
URL : <http://www.toya.co.jp>